

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農産園芸課長 森上 浩平	電話番号	0852-22-5123
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	新農林水産振興がんばる地域応援総合事業
目的	(1) 対象 農林漁業者等の組織する団体、市町村、農業協同組合、森林組合、漁業協同組合、NPO法人等 (2) 意図 戦略的で多彩な取組等を支援し、農林水産業・農山漁村の持続的な発展を図る
事業概要	地域及び県プロジェクトの推進に係る農林漁業者等の組織する団体等に対して、活動経費を補助する。

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	実施した事業の効果目標に対する段階的（H24～H27）な達成度	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	式・定義	事業総括表における年度別達成状況の平均値	目標値		85.00	90.00	95.00	100.00	%
			実績値	0.00	51.70	59.40	62.60		
			達成率		60.80	66.00	65.90		%
(1) 成果参考指標	指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	式・定義		目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	203,580	244,000
うち一般財源(千円)	203,580	244,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

消費者に支持される「売れるものづくり・産地づくり」の形成などを目的に据えた地域プロジェクトに即した、のべ182事業の実施を総合補助金の交付をもって支援した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

第2期農林水産戦略プラン推進3年目にあたり、年度毎に新しい事業を積み重ね、成果を上げるプロジェクトが出てきている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・事業の支援メニューが多様で、事業数も多いことから、所管センターや各メニュー担当との連絡を密にし、とりまとめの工夫を重ねても、進捗の把握や予算管理が難しい。
- ・すでに実施された事業の達成状況にばらつきがあり、事業全体の効果が見えにくい。また、報告も遅れがちである。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・所管センターおよび4課にわたる事業を1事業としてとりまとめている。
- ・報告すべき事業数の多さ。
- ・対プラン、プロジェクトの成果を意識するあまり、各事業ごとの当初計画や成果指標の設定が適当でない。

③原因を解消するための「課題」

- ・H28年度以降の事業見直しを是正。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・市町村との連携を密にし、補助事業の手引き等に則った事業の早期着手、早期完了に努めてもらうよう、より一層の周知、徹底を行う。
- ・H28年度からの次期事業の制度設計の中で課題解決を図る。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）